

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) エフピコアルライト株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒714-0062 岡山県笠岡市茂平2918-46
----	------------------------------	----	---

本票作成 部署名：生産支援部マネジメントシステム課

主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）
-------	-------	----	------------------------

事業の概要	事業内容：フィルム事業・段ボール事業 工場数：3工場（本社工場・ダンボール工場・関東工場） 従業員数：115名
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	ダンボール工場	笠岡市茂平2918-12
	②	本社工場	笠岡市茂平2918-46

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度（平成 29 年度）	（令和 4 ）年度排出量	目標年度（令和 4 年度）
	5,881 t CO <sub>2</sub>	2,695 t CO <sub>2</sub>	4,211 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	（令和 4 ）年度排出量
	①	ダンボール工場	1,348 t CO <sub>2</sub>
	②	本社工場	1,347 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 30 年度 ～ 令和 4 年度 （ 5 箇年度）			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	（ 4 ）年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	53.0 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 省エネ法に基づく寄与率計算で算出（①では段ボール製品の生産面積（万㎡）を、②ではプラスチックフィルムの生産重量（千t）を原単位とし、その寄与率を計算したもの）	原単位当たり排出量		
		基準年度	（ 4 ）年度	目標年度
		100.000 t CO <sub>2</sub> /（ % ）	47.000 t CO <sub>2</sub> /（ % ）	95.000 t CO <sub>2</sub> /（ % ）

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・電力会社変更により、排出係数の値が基準年と比較して大幅に下がった影響が、原単位に反映されています。

**【推進体制】**

**【ISO14001に基づき社長をトップとした環境推進体制を整備】**

推進体制…環境推進委員会（4回/年）、マネジメントレビュー（2回/年）

**【省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備】**

推進体制…エネルギー管理委員会（4回/年）

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	(令和4年度実施分) ・冷却塔設備1・2次ポンプ電動機の台数制御 (CO2削減量：17.7 t/年) ・コンプレッサー室の原料輸送配管の断熱 (CO2削減量：1 t/年) ・製膜押出機排気の屋外排出口設置による冷房電力削減 (CO2削減量：16t/年) ・電力の低炭素化 (電力会社変更) (CO2削減量：約1198 t/年)  (今後実施予定分) ・原料輸送制御装置の改修による電力削減 (CO2削減量：14 t/年) ・エゼクタ用ブロワのインバータ化 (CO2削減量：47 t/年) ・自家消費型太陽光発電設備の設置 (出力：200KW程度) (CO2削減量：70.77 t/年)
ダンボール工場	(令和4年度実施分) ・ポテンシャル診断結果に基づく施策の実施 ・スリスコッターブロワインバーター設定値見直し (CO2削減量：5 t/年) ・電力の低炭素化 (電力会社変更) (CO2削減量：約360.2 t/年)  (今後実施予定分) ・ボイラーの燃料転換 (A重油→LNG) (CO2削減量：284 t/年) ・高効率変圧器の導入 (アモルファス) (CO2削減量：1.7 t/年) ・コルゲート機 (ウェット) の更新 (CO2削減量：39 t/年)

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・家庭の電力使用量を削減した社員を表彰
- ・省エネ診断 (エネルギー管理士連盟支援) 結果に基づく省エネチューニングの実施
- ・各種省エネルギーセミナー、カーボンニュートラルセミナーへの参加